

岡 山 大 学
(シ ラ バ ス)

自尊感情の心理学				井上 祥治
履修年次 1～4	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 自尊感情および自己概念とはどのようなものであるかを理解する。またそれらが我々の行動にどのような指図をしているのかを理解する。				
【授業内容】 1. なぜ自尊感情をとりあげるのか(1回) 2. 自尊感情とはどのようなものか(2回) 3. 自尊感情の要因と形成過程(4回) 4. 自尊感情と自己概念(1回) 5. 自尊感情と動機づけ(2回) 6. 自尊感情と対人行動, 人間関係, 社会的行動, 精神的健康(5回) 7. 試験 途中で1回, 中間テストを行います。				
【テキスト】 使用しない。主要な資料・参考文献などは適宜紹介する。				
【参考図書】 遠藤辰雄・井上祥治・蘭千寿編著 セルフ・エスティームの心理学 ナカニシヤ出版ISBN4-88848-168-7(岡大生協)				
【成績評価の方法】 期末試験70%, 中間テスト20%, 受講態度10%				

日本語の歴史				江口 泰生
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】 文献によって古い時代の日本語を明らかにする方法について述べる 上代日本語について、万葉集などの用例を利用しながら講義する。日本語研究の方法や問題点にも触れる。 日本語の歴史に関する知識や日本語文献の資料論などの知識を得て、レポートにまとめたり、知識の習得をおこなう。				
【授業内容】 上代語研究の資料、方法など 奈良時代の日本語 上代特殊仮名遣い 母音交替 助動詞各説 モーラとシラブル—和歌の字あまり— 語種分別とその意味—オノマトペ、エ列音— 形態音韻—濁音、P音など分布と意味				
【テキスト】 プリントを用意する。課題レポートで課題図書を指定する場合もある				
【参考図書】 授業中に指示します。古語辞典や高校時代に用いた文法書、便覧などを持参して、不明な言葉はその場で調べましょう。万葉集のテキストがあると便利です。 中西進『万葉集 1』講談社文庫、伊藤博『万葉集 上巻』角川日本古典文庫、伊藤博『万葉集釋注1』集英社文庫など。 特に指定しないが、「日本語要説」(ひつじ)や高校時代使用した古語辞典、などを参照すると良いでしょう				
【成績評価の方法】 課題レポート、小テスト、質疑応答(随時)、期末テストなどによって総合的に評価する。課題レポート(20%)、小テスト(20%)、質疑応答(30%)、期末テスト(20%)、その他出欠など(10%)を加味するが、欠席が多い場合は評価不能。				

岡山関係の文学(1)				山本 秀樹
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】				
吉備津神社の由来を記した吉備津宮縁起を実例に、テキスト研究の基本的方法を適用して見せて、テキストの確定・理解・分析の見本とする。				
【授業内容】				
1. 「吉備津宮縁起」概説		9. 問題の整理		
2. 「諸本」という概念		10. 必要に応じた調査の方法・結果(1)		
3. 本文比較校訂		11. 必要に応じた調査の方法・結果(2)		
4. 「系統」と「古態」		12. 必要に応じた調査の方法・結果(3)		
5. 「底本」と「異本」		13. 異本の内容把握(1)		
6. 本文内容の把握(1)		14. 異本の内容把握(2)		
7. 本文内容の把握(2)		15. 異本の内容把握(3)		
8. 本文内容の把握(3)				
【テキスト】				
特になし。				
【参考図書】				
藤井駿『吉備津神社』岡山文庫52(日本文教出版 1973)				
藤井駿『吉備地方史の研究』(法蔵館 1971)(別出版社の再版あり)				
『神道大系』神社編38 美作・備前・備中・備後国(神道大系編纂会 1986)				
【成績評価の方法】				
諸本の比較について記すレポート30点				
吉備津宮縁起本文の内容を記すレポート30点				
授業概要を記すレポート40点				

生命科学入門				村田 芳行 他
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】				
生体に含まれる低分子及び高分子化合物の構造と性質, 生体内で起こっている化学反応の原理, 動植物・微生物の生理現象と化学物質の関係, さらにそれらを利用したバイオテクノロジー等について, 生物や化学を初めて学ぶ者でも興味を持って習得できるよう概説する。生体成分の化学特性を理解し, 生体内で起こっている生理現象を化学的に理解するための基礎概念, および生物の機能を利用するための基礎概念を習得する。				
【授業内容】				
第1回: 概要説明				
第2回: 生物間の情報と化学物質(1)				
第3回: 生物間の情報と化学物質(2)				
第4回: 生物に作用する物質				
第5回: 生命に作用する物質の有効性と危険性(1)				
第6回: 生命に作用する物質の有効性と危険性(2)				
第7回: 糖にまつわる生体高分子(1)				
第8回: 糖にまつわる生体高分子(2)				
第9回: 食品に含まれる化学成分とその機能(1)				
第10回: 食品に含まれる化学成分とその機能(2)				
第11回: 微生物の世界				
第12回: 地球環境と微生物				
第13回: 組み換えDNA技術				
第14回: バイオテクノロジーの最先端				
第15回: 生命科学入門まとめ				
【テキスト】				
テキストは授業に応じて資料プリントなどを配布する。授業内容によっては, ビデオ, スライド, OHPなども使用する。				
【参考図書】				
各担当教官が提示する事がある。				
【成績評価の方法】				
出席を含む平常点70点, 最終試験で30点で総合的に評価する。				

環境問題とその解決のための化学技術				木村 幸敬, 加藤 嘉英																	
履修年次	1~4	2単位	前期	1コマ																	
【授業の目的】																					
環境問題解決のための化学技術の現状を概略的に理解した上で、化学技術の果たす役割と限界を認識させ、人間活動と環境との係わり合いおよび環境調和型の社会のあり方を考える糸口を与える。具体的には、地球環境問題、公害問題に関して、化学技術的な側面から問題点や将来の展望について述べる。現代社会においては様々な環境問題があるが、技術的な問題点や可能性を理解した上で議論する必要がある。本講義では、1)公害問題、2)地球環境問題の2点について、歴史・現状をまず認識して、解決方法を議論できるための基礎知識を身につけることを目標とする。																					
【授業内容】																					
<table border="0"> <tr> <td>1 公害の歴史(1)</td> <td>9 エネルギーについて</td> </tr> <tr> <td>2 公害の歴史(2)</td> <td>10 新エネルギー</td> </tr> <tr> <td>3 大気汚染物質除去技術</td> <td>11 身近なCO2問題</td> </tr> <tr> <td>4 自動車排ガス浄化技術</td> <td>12 CO2排出抑制への世界の取り組み</td> </tr> <tr> <td>5 焼却炉排ガス浄化技術</td> <td>13 環境影響評価</td> </tr> <tr> <td>6 地球環境問題の発生</td> <td>14 CO2の分離・回収・貯留</td> </tr> <tr> <td>7 大気中の二酸化炭素はなぜ増えるか</td> <td>15 他の地球温室効果ガスの発生状況</td> </tr> <tr> <td>8 討論会(小テストを含む)</td> <td>16 最終小テスト</td> </tr> </table>						1 公害の歴史(1)	9 エネルギーについて	2 公害の歴史(2)	10 新エネルギー	3 大気汚染物質除去技術	11 身近なCO2問題	4 自動車排ガス浄化技術	12 CO2排出抑制への世界の取り組み	5 焼却炉排ガス浄化技術	13 環境影響評価	6 地球環境問題の発生	14 CO2の分離・回収・貯留	7 大気中の二酸化炭素はなぜ増えるか	15 他の地球温室効果ガスの発生状況	8 討論会(小テストを含む)	16 最終小テスト
1 公害の歴史(1)	9 エネルギーについて																				
2 公害の歴史(2)	10 新エネルギー																				
3 大気汚染物質除去技術	11 身近なCO2問題																				
4 自動車排ガス浄化技術	12 CO2排出抑制への世界の取り組み																				
5 焼却炉排ガス浄化技術	13 環境影響評価																				
6 地球環境問題の発生	14 CO2の分離・回収・貯留																				
7 大気中の二酸化炭素はなぜ増えるか	15 他の地球温室効果ガスの発生状況																				
8 討論会(小テストを含む)	16 最終小テスト																				
【テキスト】																					
講義において資料を適宜配布する。																					
【参考図書】																					
小宮山宏「地球持続の技術」岩波新書 小島紀徳 シリーズ地球と人間の環境を考える05「エネルギー」日本評論社																					
【成績評価の方法】																					
出席と小テスト(2回予定)、レポートによる総合評価																					

痛みの科学				北山 滋雄 他																			
履修年次	1~4	2単位	前期	1コマ																			
【授業の目的】																							
痛みは生体に対する初期警告信号であり、誰もが日常で経験するが、過剰で持続すれば生活を困難にする。痛みの種類とその発生機序、様々な病態、最新の臨床に基づいた治療法について概説する。痛みを多面的に学習することにより生体機能の恒常性に果たすその役割を理解し、日常の健康維持について考えることを目的とする。																							
【授業内容】																							
<table border="0"> <tr> <td>1 4月9日(月)オリエンテーション</td> <td>10 6月11日(月)痛みの臨床1(1)</td> </tr> <tr> <td>2 4月16日(月)痛みの神経解剖学1(1)</td> <td>11 6月18日(月)痛みの臨床1(2)</td> </tr> <tr> <td>3 4月23日(月)痛みの神経解剖学1(2)</td> <td>12 6月25日(月)痛みの臨床2(1)</td> </tr> <tr> <td>4 5月1日(火)痛みの神経解剖学2(1)</td> <td>13 7月2日(月)痛みの臨床2(2)</td> </tr> <tr> <td>5 5月7日(月)痛みの神経解剖学2(2)</td> <td>14 7月9日(月)痛みの臨床3(1)</td> </tr> <tr> <td>6 5月14日(月)痛みの神経生理学(1)</td> <td>15 7月23日(月)痛みの臨床3(2)</td> </tr> <tr> <td>7 5月21日(月)痛みの神経生理学(2)</td> <td>16 7月30日(月)総括</td> </tr> <tr> <td>8 5月28日(月)痛みの神経薬理学(1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 6月4日(月)痛みの神経薬理学(2)</td> <td></td> </tr> </table>						1 4月9日(月)オリエンテーション	10 6月11日(月)痛みの臨床1(1)	2 4月16日(月)痛みの神経解剖学1(1)	11 6月18日(月)痛みの臨床1(2)	3 4月23日(月)痛みの神経解剖学1(2)	12 6月25日(月)痛みの臨床2(1)	4 5月1日(火)痛みの神経解剖学2(1)	13 7月2日(月)痛みの臨床2(2)	5 5月7日(月)痛みの神経解剖学2(2)	14 7月9日(月)痛みの臨床3(1)	6 5月14日(月)痛みの神経生理学(1)	15 7月23日(月)痛みの臨床3(2)	7 5月21日(月)痛みの神経生理学(2)	16 7月30日(月)総括	8 5月28日(月)痛みの神経薬理学(1)		9 6月4日(月)痛みの神経薬理学(2)	
1 4月9日(月)オリエンテーション	10 6月11日(月)痛みの臨床1(1)																						
2 4月16日(月)痛みの神経解剖学1(1)	11 6月18日(月)痛みの臨床1(2)																						
3 4月23日(月)痛みの神経解剖学1(2)	12 6月25日(月)痛みの臨床2(1)																						
4 5月1日(火)痛みの神経解剖学2(1)	13 7月2日(月)痛みの臨床2(2)																						
5 5月7日(月)痛みの神経解剖学2(2)	14 7月9日(月)痛みの臨床3(1)																						
6 5月14日(月)痛みの神経生理学(1)	15 7月23日(月)痛みの臨床3(2)																						
7 5月21日(月)痛みの神経生理学(2)	16 7月30日(月)総括																						
8 5月28日(月)痛みの神経薬理学(1)																							
9 6月4日(月)痛みの神経薬理学(2)																							
【テキスト】																							
特に指定しない。																							
【参考図書】																							
授業のなかで適宜配布又は紹介する。																							
【成績評価の方法】																							
出席並びにレポート(あるいは小テスト)による各教員ごとの成績評価を総合して評価する。																							

スポーツ実習B(正しいスノーケリングと体験ダイビング)				三浦 孝仁
履修年次 1～4	1単位	前期集中	1コマ	
<p>【授業の目的】 スノーケリングは、海中世界を覗く最も手軽な方法である。スノーケリング、スキン・ダイビング、スクーバ・ダイビングは、ネイチャー・ダイビングとも呼ばれ、自然とふれあうスポーツとして、自然観察の手段として人気が高い。授業では、スノーケリングやスキン・ダイビングを安全に実施するための理論と実践を行う。理論は教室、実技は倉敷児島マリンプールを利用する。スノーケリングは水面でスノーケルを用いて呼吸するが、スキン・ダイビングは息を止めて水中へ潜水する。スクーバ・ダイビングは、自給式呼吸器を付けて潜水するため水中で呼吸が可能になっている。スクーバ・ダイビングを海洋で楽しむためには、専門講習により認定を受ける必要があり、この授業ではプールで体験ダイビングを実施する。 スクーバ・ダイビングの資格認定を希望する学生は、次年度「キャリア形成総合演習Ⅲ(専門スキルを身につける)」の受講を勧める。</p>				
<p>【授業内容】 ○オリエンテーション 4月25日(水)14:30-16:00キャリア開発センター 履修希望者には事前に申込用紙を配付します。 ○授業 6月20日(水)14:30-16:00 講義 キャリア開発センター 7月14日(土)8:40-17:15 講義 キャリア開発センター 7月15日(日)8:40-17:45 実技 児島マリンプール 7月16日(月)8:40-17:45 実技 児島マリンプール 日本スノーケリング協会公認のスノーケリング・インストラクターが指導します。 受講要件:健康であること、喘息、心疾患などを有する学生は、医師の許可が必要です。 スノーケラー認定料3150円が必要です。プール使用料は、大学が負担しますが、器材レンタル代はタンク代として1000円徴収します。 オリエンテーションに参加できない岡山大学以外の学生はメールにて連絡下さい。 三浦孝仁:komiura@cc.okayama-u.ac.jp</p>				
<p>【テキスト】 日本スノーケリング協会テキスト(1000円)</p>				
<p>【参考図書】 スノーケリング関連図書</p>				
<p>【成績評価の方法】 出席及び受講態度、テストにより総合評価する。この授業は、段階的な講義及び実技指導になるので欠席は不可。</p>				

キャリア形成<総合演習>Ⅲ(専門スキルを身につける①初級)				三浦 孝仁, 大八木 彰, 屋良 洋子	
履修年次	1～4	2単位	前期集中	1コマ	
【授業の目的】					
<p>スクーバ・ダイビング(SCUBA DIVING)は、ネイチャー・ダイビングとも呼ばれ、自然観察の手段として人気が高だけでなく、美しい自然とのふれあいは、心を豊かにし、趣味や人生の価値観に対する視野を広げます。この授業では、専門的講習によりSCUBA DIVINGのCカード取得を目的とします。したがって、安全潜水の理論、プール実習、海洋実習を実施します。理論は教室、海洋実習は透明度の高い沖縄を予定しています。海洋実習修了者のみCカードが認定されます。観光業、インストラクターという職業を知る機会にもなります。</p>					
【授業内容】					
<p>◆オリエンテーション 4月25日(水) 14:30～16:00 キャリア開発センター 履修希望者には事前に申込用紙を配付します。</p> <p>◆講義 第1回 5月23日(水) 14:30～17:45 キャリア開発センター 第2回 6月20日(水) 14:30～17:45 キャリア開発センター 第3回 7月15日・16日(日・月) 8:40～17:45 キャリア開発センター</p> <p>◆沖縄海洋実習 8月20日(月) 岡山発 夜:講義および最終試験 8月21日(火) 海洋実習1日目 8月22日(水) 海洋実習2日目 8月23日(木) 岡山着</p> <p>◆認定式 Cカード発行後</p>					
<p>受講要件:健康であること、喘息、心疾患などを有する学生は、医師の許可が必要です。実習費は実費が必要となります。詳細はオリエンテーションで説明します。この授業を終了、合格した学生には、SCUBA DIVINGの初級認定にあたるオープン・ウォーター・ダイバーの認定証が発行されます。</p> <p>費用等詳細はオリエンテーションで説明します。 オリエンテーションに参加できない岡山大学以外の学生はメールにて連絡下さい。 三浦孝仁:komiura@cc.okayama-u.ac.jp</p>					
【テキスト】					
JULIAのテキストを用います。					
【参考図書】					
ダイビング関連図書					
【成績評価の方法】					
出席及び受講態度、テストにより総合評価する。この授業は、段階的な講義及び実技指導になるので欠席は不可。					

キャリア形成<総合演習>Ⅲ(専門スキルを身につける②中級)				片山 敬子 他 kei-kata@cc.okayama-u.ac.jp	
履修年次	1～4	2単位	前期集中	1コマ	
【授業の目的】 スクーバ・ダイビング(SCUBA DIVING)の初級認定であるオープン・ウォーターダイバー(O/W)のためのスキルアップとして、アドバンスド・ダイバーCカード取得目的とします。したがって、O/Wより高度な安全潜水の理論、コンパスで位置を確認したり、O/Wより深い深度をとったりする海洋実習を実施します。理論は教室、海洋実習は透明度の高い沖縄を予定しています。海洋実習修了者のみCカードが認定されます。海洋実習先の沖縄では、観光業、インストラクターという職業を知る機会にもなり、ダイビングのスキルアップと共に、心豊かな人生のための知識も習得することが可能です。					
【授業内容】 ◆オリエンテーション 4月25日(水) 14:30～16:00 キャリア開発センター 履修希望者には事前に申込用紙を配付します。 ◆講義 第1回 5月23日(水) 14:30～17:45 キャリア開発センター 第2回 6月20日(水) 14:30～17:45 キャリア開発センター 第3回 7月15日・16日(日・月) 8:40～17:45 キャリア開発センター ◆沖縄海洋実習 8月20日(月) 岡山発 夜:講義および最終試験 8月21日(火) 海洋実習1日目 8月22日(水) 海洋実習2日目 8月23日(木) 岡山着 ◆認定式 Cカード発行後 この授業を終了、合格した学生には、SCUBA DIVING のアドバンスド・ダイバーの認定書が発行されます。 受講要件: オープン・ウォーターダイバーのCカードを取得していること。健康であること、喘息、心疾患などを有する学生は、医師の許可が必要です。実習費は実費が必要です。詳細はオリエンテーションで説明します。 オリエンテーションに参加できない岡山大学以外の学生はメールにて連絡下さい。					
【テキスト】 CMASのテキストを用います。					
【参考図書】 ダイビング関連図書					
【成績評価の方法】 出席及び受講態度、テストにより総合評価する。この授業は、段階的な講義及び実技指導になるので欠席は不可。					

スポーツ実習B「スノーボード」				山口 立雄・杉山 貴義
履修年次 1～4	1単位	後期集中	1コマ	会場には県外のスキー場を予定しています。
【授業の目的】 スノーボードの操作に習熟し、斜面において、安全に滑走、停止ができるようになる。				
【授業内容】				
	午前	午後	夜	
第一日	集合移動, 実習1	実習2	講義	
第二日	実習3	実習4	講義(含筆記試験)	
第三日	実習5	実技試験, 移動	解散	
<p>実習1: 用具に関する知識と着脱, 平地技術(移動技術, 方向変換, 転倒起立) 実習2: 緩斜面での登行法と直滑降自然停止 実習3: 直滑降からの方向変換と停止 実習4: 斜滑降から先落としによる直滑降と山回り停止 実習5: 斜滑降から先落としによる谷回り停止。連続ターン</p>				
【テキスト】 基本レッスン スノーボード: 山口・木村・浅山著, 大修館(1,400+税)を使用する。				
【参考図書】 SAJスノーボード教程DVD版: スキージャーナル, 2009.				
【成績評価の方法】 出席点60点, 技能テスト20点, 知識テスト20点の100点満点で評価する。				

健康・スポーツ科学				鈴木 久雄
履修年次 1～4	2単位	通年	1コマ	4月11日、12月12日は必ず出席すること。 水曜日18時30分より授業を開始するので要注意。
【授業の目的】 運動やスポーツ、健康について、科学的な取り組み方、留意点を学び、スポーツ実践や健康づくりに役立てる。また、個々人が自ら設定した課題を探求し、理論と実践の融合をはかる。				
【授業内容】				
1 4月11日(水) オリエンテーション				
2～14 以下の16回より13回受講する				
1) 5月23日(水) スポーツと水分補給		2) 5月30日(水) スポーツを哲学する		
3) 6月6日(水) スポーツ障害		4) 6月13日(水) スポーツと不整脈		
5) 6月20日(水) 運動・スポーツと骨		6) 6月27日(水) スポーツと膝痛		
7) 7月4日(水) スポーツ歯科		8) 7月11日(水) 痛みの仕組み		
9) 7月18日(水) スポーツによるからだの変化		10) 10月17日(水) スポーツメンタルトレーニング		
11) 10月24日(水) 競技力を高める		12) 10月31日(水) 食べ物でコンディションをコントロールしましょう		
13) 11月7日(水) スポーツと紛争		14) 11月14日(水) 上肢スポーツ傷害		
15) 11月28日(水) 応急処置		16) 12月5日(水) 本番で実力を発揮する方法		
15 12月12日(水) 課題発表, 討論				
【テキスト】 使用しない。毎回、資料を配付する。				
【参考図書】 特になし				
【成績評価の方法】 13回分の授業レポート78点(6点×13回)と、まとめ・ディスカッション12点、感想レポート10点より評価する。				

韓国語中級				陳南澤
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	各大学において初級程度の韓国語を通年履修しているか、それに相当する韓国語力を有すると授業担当教員が認めた者について履修を許可します。希望者は単位互換履修科目履修願に韓国語学習歴を記載した文書(様式は問いません)を添えて提出してください。
【授業の目的】 韓国語の総合的学習(より多様な表現を学び、作文などを行う)と韓国文化に関する理解を深める。 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。韓国語能力試験 2級合格を目指す。				
【授業内容】 第1回:オリエンテーション 第2～15回:教科書とプリントによる韓国語の文型や単語の習得:各課ごとに単語テストを行なう。 第16回:最終試験				
【テキスト】 プリント				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 期末試験(40%), 小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。				

韓国語中級				陳南澤
履修年次 1～4	2単位	後期	1コマ	各大学において初級程度の韓国語を通年履修しているか、それに相当する韓国語力を有すると授業担当教員が認めた者について履修を許可します。希望者は単位互換履修科目履修願に韓国語学習歴を記載した文書(様式は問いません)を添えて提出してください。
【授業の目的】 韓国語の総合的学習 韓国語で簡単な意思表示ができ、易しい韓国語文書を書けること。				
【授業内容】 第1回:前期で学んだ文法事項、重要表現を新規受講生に紹介する 第2～15回:教科書とプリントによる韓国語の文型や単語の習得:各課ごとに単語テストを行なう。 第16回:最終試験				
【テキスト】 Beautiful Korean 1-2 (EKO Language Center) 及び プリント				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 期末試験(40%), 小テスト・授業への取り組み・出席状況(60%)で、総合的に評価する。				

先進科学体験				大嶋 孝吉 他	
履修年次 1~4	1単位	通年	1コマ	夏休み等に集中講義で行う。	
【授業の目的】					
選択した分野の体験学習から先進科学における基本的知識・考え方を理解する。そのことにより、科学のありかたとその将来像を自分自身で考え、ものの見方の転換を体験し、将来への広い視野を獲得する。					
【授業内容】					
1 4月4日(水)13:30, 岡大理学部コラボ棟3階コラボ室で、テーマや単位に関する説明会を行う。他大学参加者には別					
2 SEM/EDX実習(担当:大嶋孝吉, 味野道信, 稲田佳彦)8月中旬 1日 先進科学体験に必要な科学(主に物理学, 工学):講義 初日 1,2時限 SEM操作実習 初日 3,4時限 EDX操作実習 初日 4,5時限 終了前討論会					
3 HiSOR体験(担当:横谷尚睦, 村岡祐治, 脇田高德)8月下旬 1.5日 先進科学体験に必要な科学(主に物理学): 講義 初日 4,5時限 HiSOR体験に必要な予備知識 バス移動と講義 2日目 1,2時限 HiSOR実験体験 2日目 3-4時限 実験体験討論とバス移動 2日目 5時限					
4 臨海生物体験(担当:坂本竜哉, 坂本浩隆, 秋山 貞)8月中旬, 2.5日 生物試料採取 初日 実習 4,5時限 先進学体験に必要な科学(主に生物学): 2日目 講義 1,2時限 生物試料観察, 細胞分裂体験 2日目 実習 3,4時限 宿泊と実習体験討論会 1,2日夕食後 3テーマの実験ごとに討論会を開催。課題に関する結果の発表と討論を行う。各課題レポート提出を行う。 SEMは走査型電子顕微鏡で光学顕微鏡では体験できない世界を見る。EDXはX線により物質構成元素を調べる。 HiSORは加速器を用いた軟X線源による物質表面観察。臨海生物体験はプランクトン採取観察, 受精卵細胞分裂観察など。 それぞれが興味深い体験で所属分野が違っていても将来役に立つ体験ができる。学部生, 単位を必要としない学生でも参加可。					
※ 4月4日(水)の説明会に参加できないときは、以下の連絡先へご連絡ください。 【連絡先】 大学院自然科学研究科 教授 大嶋孝吉 メールアドレス: oshima@cc.okayama-u.ac.jp 電話番号: 086-251-7827					
【テキスト】					
配布					
【参考図書】					
理化学辞典, 生物学辞典(岩波) 理科年表(丸善)					
【成績評価の方法】					
実習課題・発表・レポート・討論への参加状況を考慮し、総合的に判定する。希望により 2つ以上の体験に参加すること。					

セルビア・クロアチア語①				鐸木 道剛
履修年次	1～4	2単位	前期	1コマ
【授業の目的】 言葉を知ることによって、異文化を知る。 辞書を引きながら読める段階まで至るとともに、セルビア語を通してセルビア文化の一端に触れる。文法学習を中心とする。				
【授業内容】 1授業計画 全20課の内容を、毎回2課ずつ終える。 11回目の授業からは、実際のテキストを読んでみる。ハプスブルグ帝国のはずれのセルビアの歴史と文化が彷彿する。				
【テキスト】 中島由美/野町素己『ニューエクスプレス セルビア語クロアチア語』白水社、2010年。 必要な部分をコピーして配布する。				
【参考図書】 Morton Benson, Srpskohrvatsko-Engleski Recnik, 1974 (図書館にある。新版が入手可能) その次の段階では、セルビア語の6巻本の辞書がある。Recnik srpskohrvatskoga književnog jezika, 6 knjige, Matica Srpska i Matica Hrvatska, Novi Sad, 1967-76. また文法書としては次が最適。Javarek/Sudjic, Serbo-Croat, Teach Yourself Books, London, 1975. 関連部分を適宜コピーして配布する。				
【成績評価の方法】 出席点4割、平常点6割				

セルビア・クロアチア語②				鐸木 道剛
履修年次	1～4	2単位	前期	1コマ
【授業の目的】 言葉を知ることによって、異文化を知る。 セルビア語を実際に発音することを通してセルビア文化に触れる。発音練習を中心とする。				
【授業内容】 1授業計画 全20課の内容を、毎回2課ずつ、発音練習を行う。 11回目の授業からは、実際のテキストを読んで、発音してみる。ハプスブルグ帝国のはずれのセルビアの歴史と文化が彷彿する。				
【テキスト】 中島由美/野町素己『ニューエクスプレス セルビア語クロアチア語』白水社、2010年。 必要な部分をコピーして配布する。				
【参考図書】 Morton Benson, Srpskohrvatsko-Engleski Recnik, 1974 (図書館にある。新版が入手可能) その次の段階では、セルビア語の6巻本の辞書がある。Recnik srpskohrvatskoga književnog jezika, 6 knjige, Matica Srpska i Matica Hrvatska, Novi Sad, 1967-76. また文法書としては次が最適。Javarek/Sudjic, Serbo-Croat, Teach Yourself Books, London, 1975. 関連部分を適宜コピーして配布する。				
【成績評価の方法】 出席点4割、平常点6割				

英語科教育(第二言語習得研究)				高塚 成信
履修年次 2～4	2単位	前期	1コマ	
【授業の目的】				
英語を2つ目の言語(外国語)として習得することに関わる、社会的要因、談話的要因、心理言語学的要因、及び言語学的要因について考察し、より効果的な英語指導のあり方を検討します。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1 イントロダクション: 第2言語習得研究とは何か 2 学習者言語の特質(1): 誤りと誤りの分析 3 学習者言語の特質(2): 発達のパターン 4 学習者言語の特性(3): 変異性(小テスト) 5 中間言語: 行動主義と理性主義 6 中間言語の社会的要因 7 中間言語の談話的要因(1): インプットとインターアクション(小テスト) 8 中間言語の談話的要因(2): アウトプット 9 中間言語の心理言語学的要因(1): 第1言語の転移 10 中間言語の心理言語学的要因(2): 意識の役割(小テスト) 11 中間言語の心理言語学的要因(3): コミュニケーション方略 12 中間言語の言語学的要因(1): 言語類型学と普遍文法理論 13 中間言語の言語学的要因(2): 学習可能性と臨界期仮説 14 言語適性と動機付け 15 復習 16 試験 				
【テキスト】				
テキストは使用しません。必要なものは、印刷して配布します。				
【参考図書】				
特に必要ありませんが、以下のものは比較的読みやすく非常に参考になります。				
Ellis, R.(1997). <i>Second Language Acquisition</i> . Oxford: Oxford University Press.				
山岡俊比古(1997).『第2言語習得研究』(新装改訂版)東京: 桐原ユニ。				
村野井仁(2007).『第二言語習得研究から見た効果的な英語学習法・指導法』東京: 大修館書店。				
【成績評価の方法】				
期末に行う試験と、途中に行う小テスト、授業中の意欲・態度に基づき総合的に評価します。それぞれの配点は、60点、30点、10点です。				

中等英語科指導法A				高橋 幸子
履修年次 1～4	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】				
学校教育における英語指導の在り方を考える上で必須と思われる基本的問題について、学生自らが自分自身の学習・被教授体験を回顧したり、実際の授業を観察することによって、分析的・批判的に検討することを支援することを通して、英語を教えることへの動機付けを図るとともに、英語指導の基礎力を培うことを目的とします。				
【授業内容】				
<ol style="list-style-type: none"> 1 インTRODクシヨン: 自分はどのように英語を学習してきたのか、指導されてきたのか 2 今、日本の英語教育で問題になっていることは何か 3 なぜ日本人は英語ができないのか 4 英語教育の目標: 学習指導要領(1) 目標、小テスト 5 英語教育の内容: 学習指導要領(2) 内容(言語活動、言語活動の取扱い、言語材料) 6 英語教育の方法: 学習指導要領(3) 内容の取扱い 7 小学校英語教育は救世主か: 臨界期仮説、小テスト 8 英語は日本語とどのように異なっているのか: 日英対照分析 9 第2言語はどのように学習されるのか: 第2言語習得研究 10 日本人英語学習者は何につまずくのか: 誤答分析、小テスト 11 英語力はどのように測定できるのか: 言語テスト 12 英語が使える日本人育成のための指導法(1): 聞くことを重視した活動 13 英語が使える日本人育成のための指導法(2): 話すことを重視した活動 14 英語が使える日本人育成のための指導法(3): 英語の学習からコミュニケーションの学習へ 15 復習 16 試験 				
【テキスト】				
テキストは使用しません。必要なものは、印刷して配布します。				
【参考図書】				
特に必要ありませんが、以下のものが読みやすく非常におもしろいです。 鈴木 孝夫 1999.『日本人はなぜ英語ができないのか』岩波新書。鈴木 孝夫 2001.『英語はいらない』PHP新書。 山田雄一郎 2005.『英語教育はなぜ間違っているのか』ちくま新書。山田雄一郎 2005.『日本の英語教育』岩波新書。				
【成績評価の方法】				
期末に行う試験と、途中に行う3回の小テスト、授業中の意欲・態度に基づき総合的に評価します。それぞれの配点は、60点、30点、10点です。				

気象学				加藤 内藏進
履修年次 2～4	2単位	後期	1コマ	
【授業の目的】 地球上のエネルギー・水循環の実態と仕組みについて、アジアモンスーン等に注目して解説するとともに、地球規模の視点で見た地域規模の現象の位置づけや変動への応答過程について日本付近の現象などを例に考察し、複雑な因子の絡み合う総合地球システムへの系統的理解を深める。そのような理解を通して、気象分野に関連した理科教育や環境教育、気象の専門知識を生かした仕事などを行うための、地学的専門性を高めることを目的とする。				
【授業内容】 1 地球規模の視点で見た東アジアの気候システムの概要 2 地球大気の熱収支や大気力学過程の基礎 3 大気や海洋の運動におけるコリオリ力の役割 4 中緯度の気候大循環と温帯低気圧活動をめぐって 5 北半球夏のアジアモンスーンと水循環 6 北半球冬のアジアモンスーンと東アジアの寒気吹き出し 7 中国乾燥気候の形成と東アジアの気候への影響 8 豪雨をもたらす梅雨・秋雨前線帯 9 台風のメカニズムと日本の降水環境への影響 10 梅雨・盛夏・秋雨の季節遷移とモンスーン 11 日本海側の雪と太平洋側の雪(日本海上の気団変質vs南岸低気圧) 12 集中豪雨と集中豪雪(メソスケール降水系のダイナミクス) 13 細かいステップで遷移する東アジアの季節(『中間の季節』に注目して) 14 モンスーンや偏西風システムの変動と異常気象(暖候期) 15 モンスーンや偏西風システムの変動と異常気象(寒候期)				
【テキスト】 特になし(適宜, プリントを配布)				
【参考図書】 「一般気象学」(第2版)(小倉義光著, 東大出版会), 「気象学のプロムナード(第Ⅰ期, 第Ⅱ期)」の各巻(東京堂出版), 「豪雨と降水システム」(二宮洗三, 東京堂出版)。また, より詳しく勉強したい人は, 「気象がわかる数式入門」, 「気象がわかる数と式」, 「気象予報の物理学」(何れも, 二宮洗三著, オーム社)などを独学して, 数式も用いた理解のしかたに慣れながら受講するとよい。その他, 適宜紹介する。				
【成績評価の方法】 受講時の興味・関心や理解度(小レポート等を含む)(概ね20点), 中間レポートあるいは筆記試験(概ね40点), 最終レポートあるいは筆記試験(概ね40点)で総合的に評価する。				

アジア法				張 紅
履修年次 3～4	2単位	前期	1コマ	文化系定員10名
【授業の目的】 新中国会社法を理解し、日中ビジネスにおける特色や経営上陥りやすいトラブル並びに実務上の判例分析を通じて、現実問題に対する分析力、その防止策を探る能力を養成し、積極的な発言、情報収集能力を育てることを目標とする。				
【授業内容】 1 中国新会社法の改正概要 2 企業形態に関する日中の比較(事例を含む) 3 会社の総則 4 会社設立に関する日中の比較(判例を含む) 5 株主総会に関する日中の比較(判例を含む) 6 取締役会に関する日中の比較(判例を含む) 7 監査役会に関する日中の比較(判例を含む) 8 株式発行と譲渡に関する日中の比較(判例を含む) 9 社債に関する日中の比較(判例を含む) 10 財務・会計に関する日中の比較(判例を含む) 11 会社の合併・分割と増資・減資に関する日中の比較(判例を含む) 12 会社の解散・清算に関する日中の比較(判例を含む) 13 外国会社の支店に関する日中の比較 14 法律責任に関する日中の比較(判例を含む) 15 日中ビジネス展開における法問題リスクマネジメント(事例を含む) 16 まとめ				
【テキスト】 『現代中国法講義(第3版)』(西村幸次郎編) 張紅分担執筆:第六章「会社法」法律文化社, 2008年。 なお、その他の教科書等については初日開講時に指示する。各回講義資料としてレジュメをWEB(岡山大学法学部)に載せる。				
【参考図書】 張紅著『中国法における会社管理機構』大学教育出版				
【成績評価の方法】 成績はレポート期末試験の成績、出席状況、受講態度、質疑応答など総合して評価する。				

01021

比較政治 I				成廣 孝
履修年次 3～4	2単位	後期	1コマ	文化系定員10名
【授業の目的】 比較政治学の諸理論を、それに対応する事例を説明しながら説明する。対象は主に非民主主義国。				
【授業内容】 1 ガイダンス 2～15 比較政治学の諸理論と事例 レジーム論, デモクラシー, 非デモクラシー体制 諸地域の政治体制・民主化(歴史上の権威主義体制, 中国・韓国・北朝鮮・ロシア・東南アジア・中東諸国・ラテンアメリカ) 16 試験 そのときの政治的状況や進度に応じて扱う国や順番が変化することがある。				
【テキスト】 指定しない。				
【参考図書】 適宜指示する。				
【成績評価の方法】 期末試験に加え、アンケートを実施して出席点とする。				

現代数学要論 I				中村 博昭
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	定員10名程度
【授業の目的】 将来、必要となる数学は専攻によって様々であるが、どの分野を学ぶにしても必要となる基本的な素養を身につける。				
【授業内容】 原則として以下の順序で進めるが、学生諸君の理解の状況を見て変更の可能性がある。 第1回～第5回:集合と写像 学問としての現代数学の成り立ち(公理, 定義, 定理, 証明など)を概観したあと, 具体例を交えながら集合と写像の概念の使い方を講義する. 余裕があれば, 無限集合の濃度や順序数について簡単に紹介する. 第6回～第10回: 論理 数学における基本的な論理演算(「かつ」「または」「ならば」「でない」「すべて」「ある」)の扱いについて講義し, 具体的な問題への適用例を検証する. 第11回～第15回:初等整数論 ユークリッドの互除法に代表される除法原理を基礎に, 合同式の初歩を講義する. 第16回:最終試験				
【テキスト】 佐藤文広「数学ビギナーズマニュアル」日本評論社				
【参考図書】 松坂和夫「集合・位相入門」岩波書店				
【成績評価の方法】 出席・レポート(60点), 期末試験(40点)				

基礎物理学 I				村岡 祐治
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	定員10名程度
【授業の目的】 力学の考え方を把握し、身近に生じている現象を運動の法則から数式を使用して説明できるとこと目標にする。				
【授業内容】 力, 運動の表し方, 運動の法則, 等速円運動, 振動, 仕事とエネルギー, 運動量, 慣性力, 回転運動について順次講義する。 授業は理解の様子を見ながら進める。試験を含め16回の授業を行う。				
【テキスト】 原 康夫 著 第3版基礎物理学 学術図書出版社 ISBN4-87361-681-6				
【参考図書】				
【成績評価の方法】 出席(20%), レポート(20%), 期末試験(60%), 2/3以上の出席者に対し単位可否の認定をする。				

基礎有機化学				西原 康師
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	定員10名程度
【授業の目的】 高分子化学という分野を取り巻く他分野との関連を巨視的に眺めることにより自然科学全体を広く理解できるようにすることが重要である。用いるテキストに記載させている専門用語の意味や内容を理解できるようになることが第一義の目標である。				
【授業内容】				
1 高分子概論	2 身の回りの高分子	3 原子から低分子へ	4 低分子から高分子へ	5 高分子の力学的性質
6 高分子	7 高分子の光と電気特性	8 中間試験および解説	9 連鎖反応	10 逐次反応
			11 高分子の反応	12 高分子材料
			13 機能性高分子	14 高分子と環境問題
			15 最終試験および解説	16 まとめ
【テキスト】 「絶対わかる高分子化学」 斎藤勝裕, 山下啓司 著講談社 (2005-07-15出版) ¥2,520(税込) (生協で購入可)				
【参考図書】				
1)「高分子合成化学」 遠藤 剛, 三田文雄 著 ¥2,940 (税込)				
2)「物質工学講座 高分子合成化学」 山下雄也監修／青木俊樹他共著 ¥4,725(税込)				
【成績評価の方法】 中間試験 (50点) および最終試験 (50点) により評価する。(但し, 毎回の出席点を最大10点で加点することがある)				

基礎生物学 I				沓掛 和弘
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	定員10名程度
【授業の目的】 生物を構成する細胞、エネルギー代謝、遺伝子の発現、動物の行動と環境への適応など、生命活動を支える仕組みを理解する。				
【授業内容】				
1 イントロダクション	2 細胞	3 細胞分裂	4 生体を構成する物質	5 エネルギー代謝:呼吸
6 エネルギー代謝:エネルギーの消費	7 遺伝子	8 動物の行動	9 神経系とニューロン	10 感覚:ものが見えるしくみ
11 行動の制御	12 環境への適応:生物リズム	13 体内時計	14 季節への適応	15 環境と人間活動
16 期末試験				
【テキスト】 現代生物学入門 岡山大学生物学教科書作成グループ編・岡山大学出版会				
【参考図書】 イントロダクションで紹介する。				
【成績評価の方法】 レポート、小試験と期末試験で総合的に評価する。				

基礎地球科学A					山川 純次
履修年次	1～4	2単位	前期	1コマ	定員10名程度
【授業の目的】					
1. 地球の構造と構成要素の理解 2. 惑星規模の現象を支配する要因と法則の理解 3. 地球科学の研究に必要な知識の習得					
【授業内容】					
1. 地球システム科学 2. 地球温暖化に関する解説 3. 地球の大きさや重さ 4. 地球の内部構造 5. リソスフェア, アセノスフェアとメソスフェア 6. プレートテクトニクスとプレュームテクトニクス 7. 火山と岩石 8. マグマの化学組成 9. 地殻の進化 10. 化石 11. 変成岩と鉱物 12. 鉱物の結晶構造 13. 同位体を使った年代推定 14. 地球の初期形成 15. 大陸の成長 16. 期末試験					
【テキスト】					
教科書 教科書は使用しない。講義に必要な資料は理学部e-Learnigサーバ http://mdl-sci.desc.okayama-u.ac.jp/moodle/ にて配付する。					
【参考図書】					
図説地球科学(杉村新・中村保夫・井田喜明 編, 岩波書店, 1988) 理科年表(国立天文台 編, 丸善株式会社, 2007) 別冊宝島443 地球50億年の謎(別冊宝島編集部, 宝島社, 1999)					
【成績評価の方法】					
毎時間の小テスト40点, 期末試験30点, 最終レポート30点					

環境と健康					山岡 聖典 他
履修年次	1～4	2単位	前期	1コマ	若干名
【授業の目的】					
生活環境が健康に及ぼす影響の実態を理解し, 健康長寿社会の実現のための望ましい生活環境と生活スタイルの創出能力を習得することが授業の目的である。このため, 講義の内容をよく理解し, 健康で長寿な毎日を過ごすために, 実際の生活環境においてどんな問題があり, これに対してどう解決していくべきかを具体的に考えてもらう。さらに, 得られた知識を一般の人に対して啓蒙することができるかが到達目標となる。					
【授業内容】					
第1回: 環境と健康とは(山岡聖典教授) 第2回: 健康長寿で生活するには(山岡聖典教授) 第3回: 生活習慣病・成人病(1) 肥満とダイエット(上者郁夫教授) 第4回: 生活習慣病・成人病(2) 高血圧, 高脂血症, 痛風(上者郁夫教授) 第5回: 生活習慣病・成人病(3) 糖尿病, がん(上者郁夫教授) 第6回: 生活習慣病・成人病(4) 虚血性心疾患, 脳血管障害, 胃・十二指腸潰瘍, 肝機能障害(上者郁夫教授) 第7回: 生活習慣病・成人病(5) 健康維持のための日常生活(上者郁夫教授) 第8回: 社会環境と健康(伊藤武彦教授) 第9回: 生活環境と健康(伊藤武彦教授) 第10回: 職業と健康(1)(伊藤武彦教授) 第11回: 職業と健康(2)(伊藤武彦教授) 第12回: 生体と電気(中村隆夫准教授) 第13回: 生体電気現象(中村隆夫准教授) 第14回: 健康リスクと生体防御機構(野村崇治非常勤講師) 第15回: 環境と健康のまとめ(山岡聖典教授) 第16回: 最終試験(山岡聖典教授)					
【テキスト】					
必要に応じて資料などを配付する。					
【参考図書】					
適宜, 講義の中で紹介する。					
【成績評価の方法】					
最終試験を60点, 出席点・授業態度などを40点とし, 総合的に評価する。					

保健科学入門					景山 甚郷、岡本 基、大西 勝、草地 省藏、池田 敏、安田 和弘、小田 慈、上者 郁夫、片岡 幹男、谷垣 静子、品川 克至
履修年次	1～4	2単位	前期	1コマ	若干名
【授業の目的】 将来異なる医療職に従事したとき、共通の基礎知識にたつて相互理解と協力が図れるようになる。					
【授業内容】					
・医学概論(1)		景山甚郷先生			
・医学概論(2)		〃			
・大学生生活とメンタルヘルス		大西 勝先生			
・動脈硬化		草地省藏先生			
・飲酒と健康		池田 敏先生			
・臓器移植		財団法人岡山県臓器バンク移植コーディネーター			安田和広先生
・心の健康の保ち方		岡本 基先生			
・痴呆		岡本 基先生			
・医療放射線被曝		上者郁夫先生			
・造血幹細胞移植		品川克至先生			
・在宅看護		谷垣静子先生			
・院内感染症		片岡幹男先生			
・肥満と健康		景山甚郷先生			
・HIV感染症		小田 慈先生			
・トピックス		景山甚郷先生			
【テキスト】 特に指定しない。必要があれば授業の中で資料を配布する。					
【参考図書】 適宜、講義の中で紹介する。					
【成績評価の方法】 評価方法は試験、ミニレポート、出欠状況など。教員によって異なる。					

細胞生物学					杉本 朋貞(責任者)
履修年次	1～4	2単位	後期	1コマ	5名以内
【授業の目的】 ヒトの細胞の構造と機能を理解する。					
【授業内容】					
1 細胞の構造：タンパク合成と分泌（杉本教授）					
2 細胞の構造：細胞による消化（杉本教授）					
3 細胞の構造：細胞の骨格（杉本教授）					
4 細胞の機能：生体の構成物質（滝川教授）					
5 細胞の機能：物質代謝 エネルギーの獲得と利用（滝川教授）					
6 細胞の機能：細胞の増殖と分化の分子機構（滝川教授）					
7 細胞の構造：組織・器官の構成（寺山准教授）					
8 細胞の構造：組織・器官の構成（寺山准教授）					
9 細胞の構造：組織・器官の構成（寺山准教授）					
10 細胞の機能：生理学と神経系（小橋准教授）					
11 細胞の機能：神経細胞の電気的特徴（小橋准教授）					
12 細胞の機能：簡単な神経回路の働き（小橋准教授）					
13 細胞の機能：身近な薬を科学する 受容体と情報伝達機構（十川准教授）					
14 細胞の機能：身近な薬を科学する 薬物と酵素活性（十川准教授）					
15 細胞の機能：身近な薬を科学する 薬物相互作用（十川准教授）					
16					
【テキスト】 必要に応じてプリント等を配布する。					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 学期末にレポートを提出させ、可否を判定し、出席点と併せて総合評価する。					

生体材料学1					松本卓也(責任者)
履修年次 1～4	1単位	前期前半	1コマ	5名以内	
【授業の目的】					
<p>歯科医療は、口腔の健康維持ならびに口腔機能不全症の回復を主体としているが、治療を行う上で生体材料は必要不可欠であり、かつ、人体の中で生体材料が最も応用されている領域でもある。本講義では、総論として歯科医学で応用されている生体材料について、その意義、目的、種類、性質など基礎的事項を理解するとともに、各論として印象用材料、模型用材料、歯科用セラミックスの基礎と臨床を学習する。</p>					
【授業内容】					
1 4月 10日(火) 生体材料学概説					
2 4月 17日(火) 生体材料の種類と性質1					
3 4月 24日(火) 生体材料の種類と性質2					
4 5月 1日(火) 印象用材料					
5 5月 8日(火) 模型用材料					
6 5月 15日(火) 歯科用セラミックス1					
7 5月 22日(火) 歯科用セラミックス2					
8 5月 29日(火) 試験					
9					
10					
【テキスト】					
スタンダード歯科理工学(学建書院)					
【参考図書】					
【成績評価の方法】					
本講義を担当する教員がそれぞれ期末試験を行い、試験結果の平均点で成績評価を行う。					

生体材料学2					松本卓也(責任者)
履修年次 1～4	1単位	後期前半	1コマ	5名以内	
【授業の目的】					
<p>歯科医療は、口腔の健康維持ならびに口腔機能不全症の回復を主体としているが、治療を行う上で生体材料は必要不可欠であり、かつ、人体の中で生体材料が最も応用されている領域でもある。本講義では、合着・接着用材料、人工歯根、切削・研磨材料、歯科用器械・器具の基礎と臨床、組織再建、再生材料、組織工学を学習する。</p>					
【授業内容】					
1 10月 2日(火) 合着・接着用材料					
2 10月 9日(火) 材料表面修飾					
3 10月 16日(火) 切削、研磨材料					
4 10月 23日(火) 歯科用器械、器具、人工歯根					
5 10月 30日(火) 材料と安全性					
6 11月 6日(火) 組織再建、再生用材料					
7 11月 13日(火) 組織工学					
8 11月 20日(火) 試験					
9					
10					
【テキスト】					
スタンダード歯科理工学(学建書院)					
【参考図書】					
【成績評価の方法】					
本講義を担当する教員がそれぞれ期末試験を行い、試験結果の平均点で成績評価を行う。					

口腔感染防御論				高柴 正悟	
履修年次 1～4	1単位	後期前半	1コマ	5名以内	
【授業の目的】					
口腔感染症の病態とその全身への影響を理解するために、歯周組織に関する生物学的な基礎知識および辺縁性歯周疾患と歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病態とそれに基づく治療法について理解する。					
【授業内容】					
1 第1回	10月 2日	イントロダクション:本講義の位置付け			
2 第2回	10月 9日	感染症学			
3 第3回	10月16日	感染症学			
4 第4回	10月23日	臨床免疫学			
5 第5回	10月30日	臨床免疫学			
6 第6回	11月 6日	臨床炎症学			
7 第7回	11月13日	院内感染			
8 第8回	11月20日	試験:感染・免疫学のまとめ			
【テキスト】					
講義中に適宜紹介する。					
【参考図書】					
講義中に適宜紹介する。図書館とInternetを利用して検索を行い、情報収集することも必要になる。					
以下も講義の合間に参考にどうぞ					
1. 感染症から身を守る本—見えない敵の正体と脅威、これだけは知りなさい(KAWADE夢新書)(単行本(ソフトカバー)) 岡部信彦(著)					
2. 図解 感染恐怖マニュアル(文春文庫PLUS)(文庫) 病原体との共存を考える会(著)					
3. 人類vs感染症(岩波ジュニア新書)(新書) 岡田晴恵(著)					
4. 人体常在菌のはなし—美人は菌で作られる(集英社新書)(新書) 青木阜(著)					
【成績評価の方法】					
毎回講義内容とその感想をレポートにして提出してもらうことによって授業に対する姿勢とともに個人の知識や思考能力を評価する。また、講義内容に関する筆記試験(単に知識を求めるものではないことに注意)を行う。試験60点、レポート30点、出席10点					

口腔内科学				高柴 正悟	
履修年次	1～4	1単位	前期後半	1コマ	5名以内
【授業の目的】					
種々の疾患は個体毎に異なる病態を持つことを診断して治療・管理を行う，すなわち，“個体医療”の概念に基づいて治療を実践するために，口腔科学と全身の科学との関係を，主に感染症，慢性炎症，および免疫疾患の観点から捉え，「口腔内科」の発展的・学際的な考え方を理解する。					
【授業内容】					
1	第1回	6月 7日	口腔治療学：口腔科学の視点から		
2	第2回	6月14日	全身疾患の口腔への影響 口腔疾患の全身への影響：これらからの歯科医療が目指すべき		
3	第3回	6月28日	全身疾患の口腔への影響 口腔疾患の全身への影響：病院内の歯科のありかた		
4	第4回	7月 5日	全身疾患の口腔への影響 口腔疾患の全身への影響：易感染性宿主や有病者との関係		
5	第5回	7月12日	特別講義：口腔科学から隣接科学への貢献と影響		
6	第6回	7月12日	特別講義：口腔科学から隣接科学への貢献と影響		
7	第7回	7月19日	全身疾患の口腔への影響 口腔疾患の全身への影響：糖尿病外来と妊婦外来		
8	第8回	7月26日	試験：口腔内科学のまとめ		
9					
【テキスト】					
講義中に適宜紹介する。					
事前に， http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~perio/bind2/cn11/pg60.html にある口腔内科学 Oral Medicineの資料を予習しておくこと。					
選択すべき教科書群；					
1. ペリオドンタルメディスン Louis F.Rose・Robert J.Genco ほか編著／宮田隆 監訳 医歯薬出版 定価 10,500円					
2. 歯周病と7つの病気 — 8つのnews 吉江弘正，高柴正悟 編著 永末書店 定価(本体価格8,000円＋税)					
3. 歯科医師・歯科衛生士のための唾液検査ハンドブック 鴨井久一，花田信弘 監修 ヒョーロン 定価 4,725円					
4. 内科医に必要な口腔疾患の知識 (日本臨床内科医会叢書) (単行本) 藤田 浄秀 (編集) ¥3,150					
5. 口腔内科学シークレット 島原政司，勝健一 監訳 メディカルサイエンスインターナショナル 定価 5,460円					
6. 糖尿病患者に対する歯周治療ガイドライン (PDF: http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsp2/pub/file/guideline_diabetes.pdf)					
【参考図書】					
講義中に適宜紹介する。図書館とInternetを利用して検索を行い、情報収集することも必要になる。					
【成績評価の方法】					
毎回講義内容とその感想をレポートにして提出してもらうことによって授業に対する姿勢とともに個人の知識や思考能力を評価する。また，講義内容に関する筆記試験(単に知識を求めるものではないことに注意)を行う。試験60点、レポート30点、出席10点					

有機化学I				竹内 靖雄	
履修年次 1～4	2単位	前期	1コマ	定員10名, 理工科系・生命科学系学生用	
【授業の目的】 高校化学との連携を意識しつつ, 薬学教育で必須となる有機化学の基礎を概説する。					
【授業内容】 第 1 回 概説・薬学の有機化学とは 第2～4回 基本事項 第5～7回 有機化合物の立体構造 第 8 回 第1～7回演習・中間試験 第9～11回 アルカン 第12～14回 アルケン, アルキン 第 15 回 第9～14回演習 第 16 回 期末試験					
【テキスト】 スタンダード薬学シリーズ3 化学系薬学 I. 化学物質の性質と反応 (第2版)(東京化学同人)					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 ・記述試験と出席状況の結果から評価する。 ・記述試験の評価は, 第1～4回の試験結果の合計点とする。 ・出席状況の評価は, 出席点を加点するのではなく, 2点(届出有)～5点(届出無)の欠席点を減じる。 ・双方向性授業を目指すため, シヤトルカードを使用し, 出席の確認と小テストも兼ねる。					

機械システム系概論				瀬沼 武秀, 鈴木 和彦 他	
履修年次 1～4	1単位	前期前半	1コマ		
【授業の目的】 機械ならびにシステムに関する概要を工学系の学生に分かりやすく紹介する。 ①工学系の学生としての修学姿勢を修得する。②実際の研究開発における機械ならびにシステムの役割を修得する。③各研究室の研究活動について紹介する。なお, この授業はクラス分けを行います。					
【授業内容】 機械系・システム系概論をそれぞれ4回の講義(合計8回)を実施する。機械系・システム系の講義はクラスにより順番が変わる場合がある。 機械系概論 1. 社会から期待されるエンジニアになるための自己育成法 2. 岡山大学機械システム工学科(機械系)の主な研究の紹介 3. 機械工学の役割(環境技術を例に) 4. 機械工学の役割(自動車産業を例に) システム系概論 1. システム工学とは(システムズアプローチ) 2. システムとは 3. システム工学の役割 4. 岡山大学機械システム工学科(システム系)の主な研究の紹介					
【テキスト】 必要に応じて資料を配布する。					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 レポート100% (授業内に指示する)					

電気通信系概論				船曳 信生, 塚田 啓二 他	
履修年次 1～4	1単位	前期後半	1コマ		
【授業の目的】 この講義では、電気通信系工学の学問的基礎の導入とこの分野への広い興味を喚起する。具体的には、電気通信系工学に関する基礎的概念とそれに根ざした先端の話題の紹介を通じて、電気通信系工学の重要性を多面的、多角的に学ぶ。					
【授業内容】 下記8回の講義を実施するが、講義の順序はクラスによって異なる。 1. 電子デバイスのしくみ 2. 脳機能型デバイスを目指して 3. 磁気の知識が省エネに役立つ 4. 再生可能エネルギーの利用を目指して 5. モバイル通信の現状と動向 6. 公開鍵暗号(RSA暗号)とその原理 7. インターネットのしくみ 8. Webシステムのしくみ					
【テキスト】 講義内容に関連する資料は、必要に応じて、プリント等を配付する。					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 レポート100%（授業内に指示する）					

情報系概論				名古屋 彰 他	
履修年次 1～4	1単位	前期前半	1コマ		
【授業の目的】 工学部で学ぶ者が理解しておくべき情報系の技術の基礎知識を学ぶとともに、各研究分野における先端的な話題を聞いて情報系の学問を習得する意義と目的を理解する。					
【授業内容】 下記の8回の講義を実施するが、講義の順序はクラスによって異なる。 1. コンピュータの基本構成と動作原理 2. 高性能、低コストのコンピュータを実現する技術 3. 計算機の電源ONから立ち上がるまでの動き 4. 大きなプログラムを動かす仕組み 5. 使い易いコンピュータとは？ ヒューマンインタフェースへの誘い 6. 人間は如何に喋っているか？ 信号処理の一応用 7. 処理対象の拡大と情報革命の進展 8. 情報処理の最前線と将来展望 — コンピュータビジョンを例に取って					
【テキスト】 必要に応じてプリント等を配布する。					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 レポート100%（授業内に指示する）					

化学生命系概論				妹尾昌治, 高井和彦 他	
履修年次 1～4	1単位	前期後半	1コマ		
【授業の目的】 身のまわりの多種多様な有機・無機化合物や生命現象を題材に、その性質やしくみおよびその利用について化学の視点から理解し、工学の中における重要性を学ぶ。さらに生命工学とはどのような境界領域と考えればよいのかを学ぶと同時に最新の研究の意義と重要性を学ぶ。					
【授業内容】 下記の8回の講義を実施するが、講義の順序はクラスによって異なる。 1. 鉄さび(酸化鉄)の多彩な化学 2. 化学結合から考えるセラミックス 3. 材料製造プロセスの工学と化学 4. 石油と身の回りの高分子をつなぐ化学 5. 人工生体材料の分子化学 6. 半熟卵は消化がいい 7. 天然にないアミノ酸をタンパク質に組み入れる 8. タンパク質を”工学”すると、何ができるか？					
【テキスト】 講義内容に関連する資料は、必要に応じて、プリント等を配付する。					
【参考図書】 適宜、授業中に参考図書を紹介する。					
【成績評価の方法】 レポート100%（授業内に指示する）					

特殊加工学				岡田 晃	
履修年次 3～4	2単位	前期	1コマ	定員20名, 理工系学生用	
【授業の目的】 工業材料の加工法において特殊加工として位置付けられている放電加工, レーザ加工, 電子ビーム加工, 超音波加工, 電解加工, 電鍍加工等の原理, 特徴, 応用等について学習する。					
【授業内容】 1. 特殊加工法の必要性と発展の経緯, 特殊加工法の分類 2. 放電加工(1) 3. 放電加工(2) 4. 電子ビーム加工(1) 5. 電子ビーム加工(2) 6. イオンビーム加工 7. レーザ加工(1) 8. レーザ加工(2) 9. 超音波加工 10. 電解加工 11. エッチング・めっき 12. 電鍍加工 13. PVD 14. CVD 15. 特殊加工法の将来展望 16. 期末試験					
【テキスト】 教科書:「特殊加工」佐藤敏一 著 (株)養賢堂 参考書:「加工技術データファイル」機械振興協会技術研究所					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 点数による評価:1. 期末試験(100点満点)の結果に加え, 欠席点(1回あたり2点減点)を含めて評価する。					

コンピュータグラフィクス				金谷健一・新妻弘崇	
履修年次 3～4	2単位	後期	1コマ		
【授業の目的】 コンピュータグラフィクスの原理とそれに関連する数学的事項を習得するとともに、英語の技術用語や技術表現に慣れる。					
【授業内容】					
1. コンピュータグラフィクスとは		9. シェーディング			
2. デジタル画像		10. テクスチャマッピング			
3. 3次元形状のモデリング		11. レイトレーシング			
4. 自由曲線の生成		12. 色の表現			
5. 自由曲面の生成		13. ボリュームレンダリング			
6. 3次元形状の2次元投影		14. アニメーション			
7. 3次元形状の変形と移動		15. コンピュータグラフィクスの応用			
8. 隠れ面の消去		16. 試験			
【テキスト】 教科書: 前川佳徳 編著「コンピュータグラフィクス」 オーム社					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 期末試験による。					

計算統計学I				垂水 共之	
履修年次 3～4	2単位	後期	1コマ	定員10名	統計の基礎知識を有すること。
【授業の目的】 1. 実際のデータを使って分析を行う手順を覚える。 2. Rが使えるようになる。 3. Rの結果を読み、結論を導くことができる技術を身に付ける。 4. 種々の実際のデータを使って、習得した知識をもとに分析を行う					
【授業内容】					
第1回 SPSS, S, Lisp-Stat, R等の統計解析言語, ソフトウェアの特徴, 機能について					
第2回 Rの操作法復習(基礎集計, 散布図行列, スピンプロット)					
第3回 検定					
第4回 重回帰分析					
第5回 重回帰分析(重相関係数)					
第6回 重回帰分析(変数選択)					
第7回 データ分析1					
第8回 主成分分析					
第9回 主成分得点					
第10回 データ分析2					
第11回 判別分析					
第12回 判別分析(変数選択)					
第13回 データ分析3					
第14回 クラスタ分析					
第15回 総合分析					
【テキスト】 田中・垂水他「Rによる多変量解析(共立出版)」					
【参考図書】 「竹内俊彦著 はじめてのS-PLUS/R言語プログラミング(オーム社)」 「U.リゲス著石田基広訳 Rの基礎とプログラミング技法(シュプリンガー・ジャパン)」					
【成績評価の方法】 講義期間中にレポートを10回程度と演習2回程度を予定している。					

循環型社会システム					河原 長美, 河村 雄行, 松井 康弘
履修年次 2～4	2単位	前期	1コマ	定員10名	
【授業の目的】 21世紀の望ましい社会が循環型社会と呼ばれており、その構築が喫緊の課題である。循環型社会の概念の整理及びその構築方法を、生産者側、消費者側、消費後の静脈側からのアプローチを解説する。また循環型社会の構築を各主体(事業者, 市民, 行政)が製造, 流通, 消費の動脈と, 回収, 処理・処分といった静脈において, 資源保全, 費用負担, 環境保全等の制約条件下で, 資源保全や環境負荷の低減のための手法や技術の選択について講述する。さらに水の大循環と水利用, 物質循環と地球環境保全の課題について, 循環型社会の構築の視点から考察する。					
【授業内容】 1 循環型社会とその必要性 2 循環型社会と経済 3 求められる生活様式の変革 4 循環型社会への廃棄物マネジメント 5 循環型社会の評価指標, 資源効率, 環境効率 6 自然における水の大循環と循環型社会 7 洪水, 渇水問題と水環境の課題 8 水質の現状と水環境の課題 9 生態系の保全と水環境の課題 10 水の利用と水の浄化のシステム構成と課題 11 循環型社会における環境影響・リスク評価 12 環境における物質循環と環境容量 13 循環型社会と環境の酸性化問題 14 循環型社会と地球温暖化・エネルギー問題 15 試験 16 試験の解説と講義総括					
【テキスト】 講義時に適時資料を配付する。					
【参考図書】 授業時に関連する参考書を紹介する。					
【成績評価の方法】 演習課題(20%), 試験(80%)で合計点の6割以上を合格とする。なお, 2/3以上の出席を単位取得条件とする。					

基礎地球科学					赤江 剛夫, 西村 伸一
履修年次 1～4	2単位	後期	1コマ	定員10名	
【授業の目的】					
人間活動・地域環境と関連の深い地球科学に関する事項のうち、特に地殻、地盤、岩石、土壌に関する問題について基礎的知識を講述する。地表環境を構成する地殻・地盤、岩石、土壌に関する基礎的知識を身につけることを目的とする。1. 地球の外観、プレート移動、火山活動、2. 地盤災害の機構、3. 岩石と土壌の生成過程を説明できることを目標とする。					
【授業内容】					
1 太陽系の中の地球（位置、形、大きさ、測定法、地図）					
2 地震（震源モデル、活断層、震度、マグニチュード、地震予知）					
3 プレートテクトニクス（大陸移動説、プレートの移動、海嶺、衝突）					
4 火成・火山活動（マグマ、鉱物、火成岩、火山構造、噴火）					
5 地球の進化（地質年代、風化、造山活動、変成作用）					
6 大気とその運動 / 中間試験①					
7 土の性質と地盤沈下					
8 地盤災害（1）地すべり					
9 地盤災害（2）地震					
10 地盤災害（3）降雨 / 中間試験②					
11 造岩鉱物と岩石の生成					
12 岩石の変成、風化と続成作用					
13 水循環と土壌の生成					
14 土壌の分類と分布					
15 地球の物質循環と土壌の機能 / 最終試験					
【テキスト】					
1回～10回:テキスト使用「地球科学ハンドブック」(力武常次著, 聖文社)1000円, 書店・生協注文。					
【参考図書】					
11回～15回:参考書「環境土壌学」(岩田, 赤江他, 農業土木学会)3200円, 生協注文。					
【成績評価の方法】					
担当教員ごとの試験(中間試験①②, 最終試験)の合計100%として評価する。中間試験①, 中間試験②, 最終試験の重みを各1/3とする。					

環境生物学					田中丸 重美, 中田 和義
履修年次 2～4	2単位	後期	1コマ	定員10名	
【授業の目的】					
生物の環境への適応と反応について基礎的な知識を習得する。 不良環境への生物反応を理解することにより、人為的環境変化による生態系の破壊などについて予測する能力を養う。					
【授業内容】					
第1回 生物と環境 ー進化と環境の相互作用ー, 光と植物(1)光合成と物質生産 光エネルギーの利用					
第2回 光と植物(2)光形態形成, 光ストレス					
第3回 温度と植物(1)生長反応と温度					
第4回 温度と植物(2)温度ストレス					
第5回 水と植物(1)植物を通る水の流れ					
第6回 水と植物(2)乾燥ストレス					
第7回 風と植物					
第8回 大気汚染と植物					
第9回 環境と動物の生態					
第10回 環境と動物の分布					
第11回 動物の生活史					
第12回 動物の繁殖戦略					
第13回 動物間の相互関係					
第14回 環境の人為的変化が動物に与える影響					
第15回 地球温暖化と動物					
【テキスト】 使用しない。					
【参考図書】 講義中に適宜紹介。					
【成績評価の方法】 各セッションごとに行う小テストおよびレポート, 出席等で評価する。					

環境と物質					高口 豊, 難波徳郎
履修年次 1~4	2単位	前期	1コマ	定員10名	
【授業の目的】					
1:身近な物質が, どのような化学構造を持つかを説明できる。 2:物質の化学構造と物質の性質の関係を説明できる。 3:化学工業がどのように現代社会を支えているかを説明できる。 4:物質やエネルギーの循環について説明できる。 5:化学の観点から, 環境と物質のかかわりについて正しく説明できる。					
【授業内容】					
担当:高口					
第1回 ガイダンス					
第2回 身近な物質の化学(1)何でも溶かす水					
第3回 身近な物質の化学(2)食べ物を考える:タンパク質, 糖, 油					
第4回 身近な物質の化学(3)料理の味を引き立てる香りとは色					
第5回 身近な物質の化学(4)台所に入り込んでくる化学薬品					
第6回 身近な物質の化学(5)繊維の化学					
第7回 身近な物質の化学(6)染色の化学, 筆筒に潜む化学薬品					
第8回 課題レポートの作成					
担当:難波					
第9回 人類の贅沢を化学する(1)地球はつりあったシーソーの上に					
第10回 人類の贅沢を化学する(2)物質を使い捨てる贅沢					
第11回 人類の贅沢を化学する(3)二酸化炭素を出す贅沢					
第12回 人類の贅沢を化学する(4)二酸化硫黄を出す贅沢					
第13回 人類の贅沢を化学する(5)苛性ソーダを浪費する贅沢					
第14回 人類の贅沢を化学する(6)エネルギーをむやみやたらにつかう贅沢					
第15回 人類の贅沢を化学する(7)まとめ, 人類の贅沢について考える					
第16回 期末試験と講評					
【テキスト】 なし。適宜, 資料を配布します。					
【参考図書】 鹿島長次 化学するシリーズ(http://www.geocities.jp/choji_kashima/index.html からダウンロードできます)					
【成績評価の方法】 試験, レポート及び小テストによって評価します。					

食品生化学					中村 宜督
履修年次 3~4	2単位	前期	1コマ	若干名	
【授業の目的】					
脂質を中心とした食品の栄養成分の構造、生合成、代謝、生理的意義を生化学の知識をベースにして理解する。					
【授業内容】					
1. 脂質の生理的意義					
2. 脂質の構造と機能(1)脂肪酸					
3. 脂質の構造と機能(2)中性脂肪					
4. 脂質の構造と機能(3)リン脂質					
5. 脂質の構造と機能(4)その他の脂質					
6. 生体膜(1)リン脂質二重層					
7. 生体膜(2)膜タンパク質					
8. 膜輸送(1)単純拡散とチャネル					
9. 膜輸送(2)受動輸送と能動輸送					
10. 細胞内情報伝達					
11. 脂質の消化とリポタンパク質					
12. 脂質の代謝とダイエットの生化学(1)					
13. 脂質の代謝とダイエットの生化学(2)					
14. 窒素化合物の代謝(1)アミノ酸					
15. 窒素化合物の代謝(2)核酸					
16. 最終試験					
【テキスト】					
ホートン「生化学」, 適宜資料プリントの配布					
【参考図書】					
「食品化学」(文永堂出版)					
【成績評価の方法】					
授業の復習及び出席態度(課題:授業復習プリントの提出状況など)40点, 最終試験60点で評価する。					

農業協同組合論					小松 泰信
履修年次 3～4	2単位	後期	1コマ	若干名	
【授業の目的】 農業協同組合の歴史と組織運営原理を学ぶとともに、現状に関する分析能力と、農業協同組合に関する戦略構築能力を習得する。					
【授業内容】 1. 協同組合の基礎知識(その1) 2. 協同組合の基礎知識(その2) 3. 協同組合の誕生と世界の協同組合 4. 日本における農業協同組合の歴史(その1) 5. 日本における農業協同組合の歴史(その2) 6. 運営理念と機関(その1) 7. 運営理念と機関(その2) 8. 運営理念と機関(その3) 9. 経営の特徴 10. 組合員組織の機能・現状・課題 11. 事業と活動の概説 12. 指導事業と経済(販売・購買)事業 13. 信用・共済事業 14. 利用・厚生・高齢者福祉事業 15. 日本経済・農業の動向と農業協同組合のあり方					
【テキスト】 副読本「私たちとJA」を無料で配布する。小松泰信「非敗の思想と農ある世界」大学教育出版、必携。					
【参考図書】 必要に応じて紹介する。					
【成績評価の方法】 出席点とレポートなどにより総合的に評価する。					

食料政策学					小松 泰信
履修年次 3～4	2単位	後期	1コマ	若干名	
【授業の目的】 わが国の食料政策に関する分析能力と、政策立案能力を習得する。					
【授業内容】 1. 世界の食料事情と農産物貿易交渉の動向 2. 食料自給力・自給率の向上に向けた取り組み 3. 食の安全と消費者の信頼の確保 4. 農業経済の現状 5. 農地・農業用水の確保と農地の有効利用の促進 6. 農業労働力の現状 7. 担い手の育成・確保に向けた取り組み 8. 農業の体質強化と高付加価値化に向けた多様な取り組み 9. 資源・環境対策の推進状況 10. 農村地域の現状 11. 農村の資源等の保全・向上に向けた取り組み 12. 農商工連携等を通じた農村地域の活性化 13. 農村における雇用対策の推進状況 14. 共生・対流の促進を通じた農村地域の活性化 15. 国産農産物の消費の拡大と需要に応じた生産の展開					
【テキスト】 当該年度の「食料・農業・農村白書」と参考資料を配布する。					
【参考図書】 必要に応じて紹介する。					
【成績評価の方法】 出席点とレポートなどにより総合的に評価する。					

農業経営学					小松 泰信
履修年次 2～4	2単位	前期	1コマ	若干名	
【授業の目的】 わが国における農業経営が置かれている状況に関する分析能力と、農業経営に関する戦略構築能力を習得する。					
【授業内容】 1. 農業の動向と食料需給 2. 農業経営のかたちの収益目標 3. 農業経営の要素とその利用 4. 農業経営組織 5. 農業経営の運営と合理化 6. 農業経営の診断 7. 農業経営の設計 8. 農業市場のしくみ 9. 農産物の流通 10. 生産資材の購入と資金の調達 11. 農業経営と農家生活 12. 農村社会と集団活動 13. 農業協同組合 14. 農業政策と関係法規 15. 新しい農業経営をめざして					
【テキスト】 実教出版「農業経営」					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 出席点とレポートなどにより総合的に評価する。					

栄養生化学					坂口 英・宮本 拓
履修年次 2～4	2単位	前期	1コマ	若干名	
【授業の目的】 生命を維持している様々な仕組みのなかで、栄養素とその代謝が担う部分を理解することができる。食生活の理解と健康管理、また家畜の科学的な飼養にとって重要な栄養学の基礎が身に付く。					
【授業内容】 1. 個体と細胞の栄養、栄養素の種類 2. タンパク質の化学、消化・吸収 3. タンパク質の代謝 4. タンパク質の代謝 5. タンパク質の栄養 6. タンパク質の栄養・試験 7. 糖質の種類と化学 8. 糖質の消化と吸収、代謝 9. 糖質の代謝と調節 10. 糖質の栄養とエネルギー代謝・試験 11. 脂質の種類と化学 12. 脂質の消化、吸収、代謝 13. 脂質の機能 14. 脂質の栄養 15. 脂質の栄養・試験 16. 最終試験					
【テキスト】 現代の栄養化学(柳田晃良・福田亘博・池田郁男 編著, 三共出版 ISBN 4-7827-0522-0)					
【参考図書】					
【成績評価の方法】 授業時間内の3回程度の試験成績(合計90点)および出席状況(10点)に基づいて評価する。授業内容の理解度を主な評価基準とする。					

農場体験実習				齊藤 邦行	
履修年次 1～4	1単位	前期集中	1コマ	若干名	
【授業の目的】					
農学部附属山陽圏フィールド科学センターに宿泊して、実際の農場運営に参画し、土や作物、家畜に触れて、農業の重要性を理解する。					
【授業内容】					
1. 受講を希望する学生は事前に担当教員（ksaitoh@ (以下はcc.okayama-u.ac.jp)）に直接メールにて問い合わせ、8月6日（月）17:00より、農学部第3講義室においてオリエンテーションを行い、履修の確認と注意事項を説明します。					
2. 実習経費として、宿泊費、食費（7食）、交流会費用、生活用品費として5,000円を徴収します。					
3. フィールド科学センターにおいて、夏期休暇の3日間（9月26, 27, 28日）、以下のような要領で実習を行います。					
1) 野菜部門（岡山農場）、果樹部門（岡山農場）、水田部門（岡山農場）、畜産部門（津高牧場）の運営をそれぞれ体験す					
2) 教員・技術職員とともに作業を行い、その必要性、合理性ならびに農業技術の体系を習得する。					
3) 実習日程（詳細および変更のある場合は、オリエンテーションの際に説明する）					
9月26日（水）		9月27日（木）		9月28日（金）	
10:30-12:00 センター紹介		6:45-7:30 牧場管理		6:45-7:30 牧場管理	
13:00-15:00 稲刈り		7:30-8:30 朝食		7:30-8:30 朝食	
15:15-15:45 移動（津高牧場）		9:00-9:30 移動（岡山農場）		9:00-11:00 草地の管理	
16:00-17:00 牛舎実習		9:30-12:00 果樹の管理		11:30-12:00 移動（岡山農場）	
18:30-19:30 夕食		13:00-15:00 野菜の管理		13:00-15:00 収穫実習	
		15:15-15:45 移動（津高牧場）		15:00-15:30 レポート作成	
		16:00-17:00 牛舎実習		16:00 解散	
		18:30-19:30 夕食			
【テキスト】					
特に使用せず、プリント・プロジェクター等を適宜用いる。					
【参考図書】					
応用植物科学栽培実習マニュアル、森源治郎ほか監修、養賢堂、東京（2000）ISBN4-8425-0058-1					
【成績評価の方法】					
出席と実習に対する取り組み態度及びレポートの内容を重視して評価する。					

基礎遺伝学				田原 誠・国枝 哲夫・加藤 鎌司	
履修年次 1～4	2単位	後期	1コマ	若干名	
【授業の目的】					
農学、生物学の基礎である遺伝学について概説する。遺伝学の基礎としてのメンデル遺伝学から、近年の細胞遺伝学、分子遺伝学にわたる範囲について広く解説する。また、集団遺伝学や量的形質の遺伝についても解説する。					
【授業内容】					
第1回 メンデル性遺伝		第9回 遺伝暗号とタンパク質合成			
第2回 染色体の行動と遺伝		第10回 原核生物における遺伝子作用の調節			
第3回 性染色体と伴性		第11回 免疫遺伝学			
第4回 家系分析		第12回 染色体の変化と突然変異			
第5回 連鎖と染色体地図の作成		第13回 集団遺伝学			
第6回 細菌およびウイルス遺伝学		第14回 量的形質の遺伝			
第7回 複対立遺伝子と遺伝的微小構造		第15回 遺伝と進化			
第8回 DNAの複製と組換え					
【テキスト】					
山口彦之著、大学の生物学 遺伝学（改訂版）裳華房、3600円					
【参考図書】					
【成績評価の方法】					
2回の期間内試験と最終試験の成績に基づいて評価する。配点は期間内試験がそれぞれ33点、最終試験が34点とする。期間内試験はレポートに変更することがある					

応用微生物学Ⅰ				稲垣 賢二	
履修年次 2～4	2単位	前期	1コマ	若干名	
【授業の目的】 生命化学やバイオテクノロジー、バイオサイエンスを理解するために必要不可欠な応用微生物学に関する基礎知識を習得する。					
【授業内容】 1. 微生物学の発展と歴史 2. 生物界における微生物の位置 3. 微生物の種類と特徴 (1)原核微生物(細菌, 放線菌, 古細菌) 4. (2)真核微生物(真菌類) 5. (3)ウイルス, バクテリオファージ, 藻類 6. 微生物の生育と栄養 7. 微生物の分離, 培養, 保存 8. 中間まとめ 9. 微生物の食品製造への利用 (1)ワイン, ビール 10. (2)清酒, ウイスキーその他の蒸留酒 11. (3)味噌, 醤油, 納豆, その他の発酵食品 12. 応用微生物工業 (1)アルコール製造 13. (2)アミノ酸発酵, 核酸発酵 14. (3)抗生物質, 生理活性物質の生産 15. 総まとめ					
【テキスト】 「応用微生物学 改訂版」(培風館), 村尾澤夫・荒井基夫 共著, 2900円。生協扱い。					
【参考図書】 「バイオのための基礎微生物学」(講談社サイエンティフィック), 「応用微生物学」(文永堂出版), 「微生物学」(化学同人), 「ホートン 生化学 第3版」(東京化学同人), 「生化学 基礎の基礎」(化学同人)					
【成績評価の方法】 平常点30点, 中間試験30点, 期末試験40点。必要に応じて, レポートや小テストを課すことがある。					